

..... 編集後記

◆ 今月号は、特集「地質情報展2006こうち(その2)」の原稿7編と、一般投稿原稿7編です。一般投稿原稿は、濃尾平野の砂、日本堆積学会つくば例会、地震と津波の国際セミナー、GISを使った地質図、それにシリーズものと新刊紹介です。

◆ 特集(その2)で、兼子さんは鳴り砂を通して自然の大きさを体験してもらうこと、鳴り砂の浜の保全の重要性を訴えています。森田さんは四国沖のメタンハイドレートの成因として、南海トラフの付加体が母岩であり貯留層になっていること、およびその水深が安定した存在に寄与していることを解説しています。目代さんは水槽を用いた堆積実験で、三角洲、河岸段丘、アンティデューンなどを再現させました。水垣さんほかは地熱資源と温泉の紹介の中で、新たに地熱発電タービンのアナログ実験を試みました。御子柴さんほかは、地球化学図の紹介として、四国における各種金属元素の分布が、地質構造とどのように関連しているかを解説しています。池原さんは四国沖の海底地形には地震による崩壊地形が良く保存されていること、および海底の泥中のタービダイトから昔の地震を読み取ることができることを紹介しています。最後に吉田さんはアンケート結果を基に、担当者の奮闘のお陰で大変好意的な評価を頂いているが、小中学校に対する宣伝に関してはもっと工夫が必要であると総括しています。

◆ 須藤さんは濃尾平野北部の木曾三川の地形と地質、治水の歴史、川原の砂礫、陸砂利について説明しています。砂は現代のコンクリート社会を支える重要な資源です。

◆ 徳橋さんは日本堆積学会つくば例会について報告しています。国際惑星地球年参加の特別企画として、普及講演「地層から読み解く地球環境：過去から学ぶ地球環境の現在と未来」が実施されました。

◆ 鈴木さんは国際セミナー「地震と津波被害に柔軟に対応できる共同体構築を目指して」の参加報告の中で、ハー

下面とソフト面は十分議論されたものの、地域住民の自助能力を高めるための具体的施策については不十分であったと指摘しています。

◆ 高橋さんは、GISを使って地質図をどのように作成するかという手引書を作成しました。今回はラスター画像を使った説明です。

◆ 高橋さんはシリーズ「英文ニュース誌から拾う」のなかで、女性地質研究者の野外調査の歴史や、ケルビンの地球年齢に関する話題などを紹介しています。

◆ 片山さんはシリーズ「地質調査のパートナー」で、海底堆積物の軟X線写真撮影試料の切り出しに使っているテグスについて紹介しています。

◆ 小松原さんは「建設者のための地形図判読演習帳」の新刊紹介をしています。

◆ 口絵には雷さんによって撮影された「地震で作られた地質景観」が掲載されています。

◆ 今月号は、堆積岩にかかわる報告が多かったようです。砂や泥は最も身近な地層の素材であり、そこには化石や天然資源が含まれています。このような身近なものを通して、資源や災害への理解が深まることを期待しています。今後とも、ご支援の程、よろしくお願い致します。(玉生志郎)

訂正とお詫び

地質ニュース9月号「地質情報展2006こうち 生活の中の花崗岩」第3図 最高裁判所、第4図 日本生命日比谷ビルに使用した画像は、ウェブ上での「20世紀東京の建築遺産50選」(社団法人東京建築士会)に収録されているものでした。

「生活の中の花崗岩」の展示パネルで紹介する建築物の検討段階において「20世紀東京の建築遺産50選」で紹介されている内容や画像を参考にさせていただきました。今回の原稿では、誤って検討段階で用いていた画像ファイルを挿入してしまいました。

ここに、関係各位にお詫び申し上げるとともに、訂正させていただきます。(長 秋雄)

地質ニュース編集委員会

委員長：玉生志郎

副委員長：吉田朋弘

委員：藤原 治・光畑裕司・高木哲一・七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース	第638号	2007年	10月号
	定価 ¥ 785 (本体価格 ¥ 748) 千実費		
2007年10月1日 発行			
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		



表紙右下のロゴについて：地質調査総合センターは、国際惑星地球年 (IYPE) に賛同し、活動を支援しています。

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2007 Geological Survey of Japan